

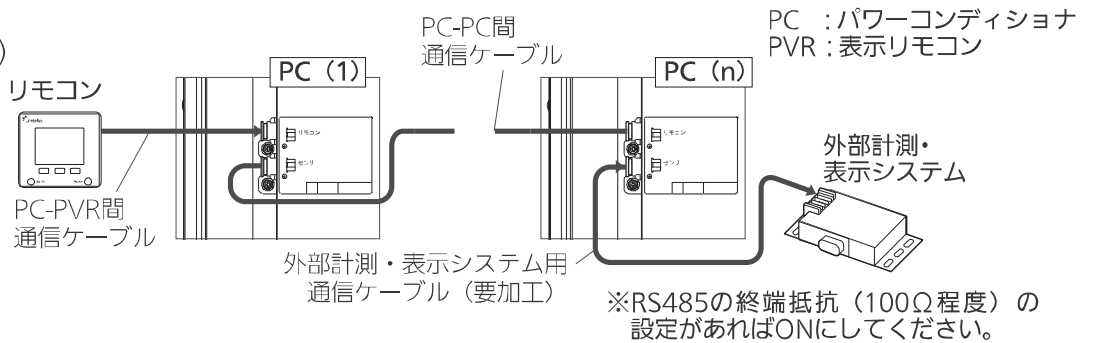
外部計測・表示システムへの配線

※外部計測・表示システムは本取付工事説明書の対象外です。本稿では、RS485を利用してデータ収集するためにパワーコンディショナ側の配線を取り出す方法を説明しています。以下の事項については、外部計測・表示システム販売店様へお問い合わせください。

- ご検討の外部計測・表示システムが田淵電機パワーコンディショナに対応しているか
- 外部計測・表示システムの取付方法、ならびに操作方法について

センサーユニット (オプション) なしで、外部計測・表示システムをつなぐ場合

- ZREM-35ENH (余剰電力買取リモコン)
: n = 2
- ZREM-35ENV (全量買取リモコン)
: n = 2 ~ 5



■ケーブルの加工

PC-PVR間通信ケーブルをもう一本用意して、切断・加工して利用してください。
(田淵電機製ケーブルは、通信線についてはツイスト処理をしています。またパワーコンディショナの筐体と丸端子を接続することで、通信線をシールドすることができます。)

加工の内容は外部計測・表示システムの仕様にあったようにしてください。
(端子台であれば丸型端子を加工するなど)

⚠ 注意
• 通信ケーブルの長さの合計が100m以内になるようにしてください。

(上記長さはリモコンから、外部計測・表示システムまでの合計です。)

こちら側を切断して加工します。

ピンアサイン	電線色
1 GND	黒
2 DC+	赤
3 Not connect	—
4 RS485 (A) +	白
5 RS485 (B) -	緑